

なのはなだより

NANOHANA DAYORI

NANOHANA DAYORI

No.61
October 2010



INDEX

①
②

トレンドTOPIX 潮流

〔ニュースウォッチ〕

トラブル防止へ

「入所時リスク説明書(参考例)」を公表

—全老健

フォーカス「老健ちば」

〔平成22年度事務長会」開催〕

〔平成22年度
第1回リハビリ部会に参加して〕

〔平成22年度
レクリエーション研修会に参加して〕

〔特集「うぼうレポート」ケアホーム白井
「広大な庭園での野菜づくり」〕



③
④

〔介護職員研修会〕

〔高口光子氏の語る看護介護のリーダー論
自由気ままに〕

ペーパーブログ

〔半世紀以上を生きてきて〕

〔杉田 桂子(准看護師)〕

〔S-T分科会よりのお知らせ〕

〔なのはなスマイル〕施設の笑顔紹介

●ハートビレッジ

〔編集後記〕



全国老人保健施設協会が
「入所時リスク説明書(参考例)」を公表



潮流トренд TOPIX ちょうりゅう

「入所時リスク説明書(参考例)」を公表した。利用者家族に対して、文書で具体的に事故のリスクを提示することにより、施設側と家族の間のトラブルを未然に防ぐ。全老健では、施設担当医のほか、支援相談員や施設の関係者などに対しても積極的に活用するよう呼びかけている。

説明書では、リハビリ施設として原則的に拘束を行わないために転倒・転落による事故が増える可能性があることや、利用者の状態が悪化した時に施設担当医の判断で病院に搬送する場合があることなど、施設における高齢者全般のリスクを紹介している。

全老健の担当者は「入所前の説明だけでなく、退所後に利用者が安全に生活するための注意書きとしても活用して欲しい」としている。

全国老人保健施設協会(全老健)はこのほど、老人保健施設で発生しやすい事故の典型例をまとめた「入所時リスク説明書(参考例)」を公表した。利用者家族に対して、文書で具体的に事故のリスクを提示することにより、施設側と家族の間のトラブルを未然に防ぐ。全老健では、施設担当医のほか、支援相談員や施設の関係者などに対しても積極的に活用するよう呼びかけている。

【入所時リスク説明書】(参考例)

入所者: _____ 様 年齢 _____ 歳 性別 _____
説明医師 _____

当施設では利用者が快適な入所生活を送られますように、安全な環境づくりに努めておりますが、利用者の身体状況や病気に伴う様々な症状が原因により、下記の危険性が伴うことを十分にご理解下さい。

《高齢者の特徴に関する》(ご確認いただきましたら□にチェックをお願いします)

- 歩行時の転倒、ベッドや車椅子からの転落等による骨折・外傷・頭蓋内損傷の恐れがあります。
- 老人保健施設は、リハビリ施設であること、原則的に拘束を行わないことから、転倒・転落による事故の可能性があります。
- 高齢者の骨はもろく、通常の対応でも容易に骨折する恐れがあります。
- 高齢者の皮膚は薄く、少しの摩擦で表皮剥離ができやすい状態にあります。
- 高齢者の血管はもろく、軽度の打撲であっても皮下出血ができやすい状態にあります。
- 加齢や認知症の症状により、水分や食物を飲み込む力が低下します。誤嚥・誤飲・窒息の危険性が高い状態にあります。
- 高齢者であることにより、脳や心臓の疾患により、急変・急死される場合もあります。
- 本人の全身状態が急に悪化した場合、当施設医師の判断で緊急に病院へ搬送を行うことがあります。

特に〇〇様は、身体状況及び服用されている薬の影響などから、〇〇〇〇〇を起こしやすいと考えられます。このことはご自宅でも起こりうることですので、十分ご留意いただけますようお願い申し上げます。

なお、説明でわからないことがあれば、遠慮なくお尋ね下さい。

私は、上記項目について、介護老人保健施設〇〇〇〇の担当医師より、入所者の貴施設利用時のリスクについて説明を受け、十分に理解しました。

平成 年 月 日

ご家族 _____ 印(続柄) _____

※参考例では説明者を担当医師としているが、施設の事情に応じて「担当支援相談員」や「説明担当者」と表記することも可能。

※説明者を2名とする場合。

※コピー等をとつて、控えを利用者にお渡しする。

全老健ホームページ <http://www.roken.or.jp> 参照

ニ
ュ
ー
ス
ウ
オ
ッ
チ

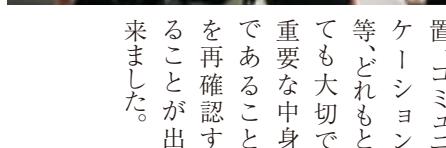
トラブル防止へ 「入所時リスク説明書(参考例)」を公表——全老健

TOPIX 1

「平成22年度事務長会」開催

6月22日に千葉老健協主催の事務長会議が開催されました。当日は講演と各ブロックでの意見交換が行われました。

A person is giving a presentation in a classroom. They are standing behind a wooden podium, gesturing with their hands as they speak. In the background, there is a large screen displaying a presentation slide. Several students are seated at desks in the foreground, facing the speaker. The room has a traditional Japanese feel with wooden walls and sliding doors.



介護職員数・介護労働の現状・賃金・離職率など、データに基づいた説明がされ非常識に分かりやすかつたです。その中でやはり目が行くのは、離職に対する理由でした。理由の中で多かったのは、精神的・体力的にきついが36.3%で最も高く、次に高かつたのはやはり賃金が低い(32.4%)ことででした。因みに一番低い理由は、経営理念・運営方針が合わなかつた(18.3%)でした。また、離職させないために施設側がおこなつてはいく取り組みなども説明がされました。施設理念・ビジョンを示すこと、研修制度の設

リハビリ加算』というテーマで開催されました。56施設62名の参加で大変多くの方に参加していただきました。

午前の講義では、日本の保險論彙（ノート）報酬のあらましから今後リハの報酬も少なくなった。その中で、リハ職は技術・知識を高めるだけではなく、法律・政治・経営などにも目を向けるべきとの事でした。午後はリハ計画書の作成手順を具体的な症例を基にした講義でした。維持期のリハビリでは、変化が少なくマンネリ化してしまいます。しかし、変化がないということは維持できてしまり、そして何故維持できているのかを評価することが大切との事でした。また、グループワークにより情報交換も行われました。

この度、レクリエーション研修会に参加させて頂き、前書きとして「レクリエーションの種類を紹介するものではありません」とあり、どのような内容の研修会なのだろうと思っていました。



アーバンケアセンター
たかむね ひろかず
介護福祉士 高旨 宏和

平成22年度
第1回リハ

第1回リハビリ部会に参加して

平成22年度
レクリエーション研修会に参加して

日々の業務に追われ、入所者様とのコミュニケーションが満足に行えていない現実の中で、人と人との人間味のある時間を過ごす、レクリエーションの空間、考え方はとても大切にしていかなければいけないと、強く感じました。



特集

こうほう

レポート

ケアホーム白井



豊かな緑の風に梨の花が揺れる白井の里
太陽の光をいっぱいに浴びて季節毎の新芽が息づく
そんな風景につつまれて…

今回は
「広大な庭園」での野菜づくり～ケアホーム白井～
をご紹介いたします。

広報委員会は、7月27日(火)に白井市にあるケアホーム白井さんを訪問させていただきました。ケアホーム白井さんは昨年1月に行われた「研究事例発表大会」において、「野菜作りの喜び～かわぐち食べれるねえ～」と言うテーマで施設での園芸療法の取り組みを発表され、取材をお願いしました。

ケアホーム白井は豊かな緑に囲まれた梨の里の白井市にある施設で、広大な土地に恵まれた全館が平屋の造りになっていました。

当日は、豊里事務長、岩本ケアワーカーにご案内いただき、施設の中はとても広く家庭的な雰囲気で、全館平屋造りの理由を伺うと理事長のお考へで「高齢者の方々が生活する上で土や植物に近い場所を提供したい」とのことでした。また、老健の中では認知症専門棟をいち早く取り入れた施設でもありました。

今回、取材目的である園芸療法の取り組みについて伺うと、とともに利用者さんたちが昔から農業を営んでおり、近所の梨畠の跡地を施設で借りて、デイ

ケアの利用者さんを中心とした「畠」での野菜作りが始まつたそうです。広大な畠は「ありのみ農園」と名付けられており季節に応じた野菜を皆さんで育て収穫しておりました。また、畠の真ん中には職員の手作りの「ウッドデッキのテラス」があり、天気の良い日には利用者さんが四季折々の風景を見て楽しむことが出来るそうです。今まで収穫した野菜はジャガイモ、キヤベツ、トウモロコシ、キュウリ、枝豆、トマト、なす、オクラ等があり、また、ヒマワリやひょうたん、桃や栗等も栽培されておりました。ひょうたんは乾燥させて皆さんで絵を書いて飾られたそうです。たくさん野菜が収穫できた時にはありのみ農園の「たより」を発行してご家族にも





収穫の喜びをお知らせしておりました。参加する利用者さんは元農家のため、野菜作りにおいては職員より「先生」とのことです。収穫された野菜は、施設の行事でスイカ割りや芋煮会に提供したり、ジャガイモを蒸かして、バターまで手作りして食べたりといろいろ工夫されておりました。

最近は利用者さんの体力的なこともあります。参加者が少なくなってきたとお話しがありました。利用者さんが野菜を育て自ら収穫することで季節を感じたり、収穫して食べることで喜びや楽しみが生まれるそうです。

今回、見学させていただき園芸療法（野菜作り）を通じて、野菜作りの楽しみや収穫し食べるまでの喜びを聞かせていただきました。「利用者さんが先生です。」という言葉にはとても感動いたしました。皆さんもぜひ見学に行かれてみてはどうでしょうか。



ケアホーム白井 住所:〒270-1406 千葉県白井市中170
電話:047-492-2000
定員:入所125名 通所50名

Care Home
Shiroi

介護職員研修会

『高口光子氏の語る看護介護のリーダー論』

平成22年7月30日(金)ホテルポートプラザちばにて介護職員研修会が開催され

42施設から64名が参加しました。

介護老人保健施設鶴舞乃城看護・介護部長高口光子氏を講師にお迎えし、「介護の仕事を考える」→看護介護のリーダー論→をテーマに講義がありました。

高口氏の熱い語りに参加者は大きく頷き、映し出される利用者ははじける笑顔にほろりとしながら聞き入っています。

た。研修目的の「介護という仕事と介護を担う自分自身について改めて考えることにより、これまでおこなってきたケアを振り返り、さらに質の高いケアの実践に向けて現状を見直す機会とする。」は多くの参加者が達成できたことだと思います。

会場では高口氏の書籍の販売も実施され、多くの参加者が長い列を作っています。



高口氏の語りに参加者は大きく頷き、映し出される利用者ははじける笑顔にほろりとしながら聞き入っています。

た。研修目的の「介護という仕事と介護を担う自分自身について改めて考えることにより、これまでおこなってきたケアを振り返り、さらに質の高いケアの実践に向けて現状を見直す機会とする。」は多くの参加者が達成できたことだと思います。

会場では高口氏の書籍の販売も実施され、多くの参加者が長い列を作っています。



講師 高口 光子 氏

今回の講義は通常数日間をかけて実施する内容を、6時間に集約して頂きました。

・看護介護に必要なリーダーシップについて・介護リーダーに必要なケア技術・新人教育と指導のポイント・スタッフとの有効なコミュニケーションとかかわり方・リーダーとしての介護施設のケアマネジメントについて講義がありました。

リーダーが一番大切にすることは「何の為に、何の仕事をしているのかを言葉にすること」である。私たちの仕事は「この施設にあわせたお年寄りをつくる為に給料をもらっているわけではない。」等、当然であるが実際は難しくやり切れないない実情を鋭く語っていました。高口氏のアドバイスのもと実践された個浴への入浴改善のエピソード、そして鶴舞乃城のスタッフと利用者の様子には多くの参加者の心が動かされ、会場は熱気につつまれていました。

リーダーが一番大切にすることは「何の為に、何の仕事をしているのかを言葉にすること」である。私たちの仕事は「この施設にあわせたお年寄りをつくる為に給料をもらっているわけではない。」等、当然であるが実際は難しくやり切れないない実情を鋭く語っていました。高口氏のアドバイスのもと実践された個浴への入浴改善のエピソード、そして鶴舞乃城のスタッフと利用者の様子には多くの参加者の心が動かされ、会場は熱気につつまれていました。

参加者の感想



介護職員 林 健一
慈風苑



介護福祉士 高濱 和憲
まくはりの郷

「何の為に何の仕事をしているのか?」日々、介護という仕事を行つて、いる自分にとって、その当たり前の問いに、改めて考えさせられました。利用者様の当たり前の生活の上に成り立つ、その人らしい生活を支援する為に質の高いケアを実践していきたい…。
もう一度自分を見つめ直す良い機会となりました。



INGENIOUS 福祉車両の販売・メンテナンス
インジニアス株式会社

〒114-0004 東京都北区堀船3-32-11 tel.03-3902-3111
フリーダイヤル 0120-023-238



ホームページにて 福祉のひろばを開設致しました。
無料掲載をご希望の施設様はお問い合わせ下さい。

<http://www.ingenious.co.jp/>

福祉車両の
プロフェッショナルにお任せください。



『半世紀以上を生きてきて』

うらら

杉田 桂子（准看護師）

私が、現在勤務している『うらら』に入職する迄の経過について、書きしたためたいと思います。



二十一歳で結婚を機に仕事を退きました。一男三女の子を授かり育児に専念、末だ体の動きには充分自信があり、活気のある職場で息子や娘と同年齢それ以下の若者と共に働き、自分自身の老いを感じません。体を動かす事による楽しみ、まだ充分に働けると言う自分なりの自信、趣味もいろいろあり充実した日を送っています。私の子供達もそれぞれ独立・結婚し、孫が八人おります。

現在は夫と一人暮らし、趣味の一つとして夫の運転で、一ヶ月毎に二泊三日の旅を楽しんでいます。旅を始めたのは三年前からです。心と体にゆとりを感じ、何の目的があつて行く旅ではあります。せんが、場所場所でおいしい物を食べお風呂に入つて体を癒す夫婦の絆をつなぐ事のできる良い薬となっています。生活にゆとりがでければ心にもゆとりがもてる、そういう人生を歩める人間になれる様な努力も必要だと思います。

「長い物に巻かれる」と言う言葉私は

大嫌い。正しい事は正しいと、私はそう言う信念でこの長い人生を生きてきました。現在の若者たちに伝えたい、自分に与えられた仕事の甘えは許されない、自分が今している仕事は他人に誇れる仕事だ、体を動かす事への喜び、学べる充実感を養つてほしいと思う日々であります。

娘が中学卒業すると共に、四十五歳で看護への再就職をして、一般科の病院で十八年（六十歳の定年を終え、その後三年嘱託として勤務しました）六十三歳の時、前々から幾分興味のあった老人施設へ勤務場所を変えてみました。現在六十八歳、今年で五年目になります。まだまだ体の動きには充分自信があり、活気のある職場で息子や娘と同年齢それ以下の若者と共に働き、自分自身の老いを感じません。体を動かす事による楽しみ、まだ充分に働けると言う自分なりの自信、趣味もいろいろあり充実した日を送っています。私の子供達もそれぞれ

独立・結婚し、孫が八人おります。



ST分科会よりのお知らせ

言語聴覚士

（ST）分科会

はリハビリ部

会の小部会と

して平成17年

に発足し、現

在、役員3名で

年2回の分科

会を企画・運営

しています。日

頃の業務の中

で気になる事

柄をテーマに掲げ、各施設の取り組みな

ど情報交換等を行なっています。全施設

のSTを参加対象としていますが、ST

がいない施設もあり過去にはその施設の

STが参加されたこともあります。昨年

度に引き続き、今年度も千葉県言語聴覚

士会介護保険委員会との合同勉強会を開

催する予定でいます。老健勤務のSTは

まだまだ少なく、交流の場も限られています。

老健勤務のSTは

まだまだ少なく、交流の場も限られています。

老健勤務のSTは

まだまだ少なく、交流の場も限られています。

老健勤務のSTは

まだまだ少なく、交流の場も限られています。

老健勤務のSTは

第23回 介護福祉士国家試験 本番直前！筆記試験対策

1 Web模擬試験

本番までの学習課題を診断！

実施期間 12月 18,19,20 日 個別診断表の提示 12月 23日

2 過去問トレーニング

弱点克服で得点力をアップ！

国家試験終了まで利用できるパソコンを用いた学習システム

費用：模試と過去問トレーニングあわせて 2,500円（税込）

詳しくは
<http://2941.jp> をご覧下さい

福祉の仕事をめざす人を応援する



運営：株式会社ジェイシー教育研究所

赤マル福祉・事務局

TEL: 043-247-4321



な の は な
ス マ イ ル



…施設の笑顔紹介



利用者の笑顔は、
心の元気度!!
私はいつも笑顔を絶やさず、
日々、治療を頑張っています!!

●ハートビレッジ
理学療法士 小川 美紀子



九十九里浜の潮風が届く、のどかな田園地帯に平成2年に開設。地域の皆様、利用者様の笑顔に支えられ、20周年を迎えることが出来ました。当初からの「明るく、楽しく、家庭的に」をモットーに利用者様1人1人のニーズに対応出来る施設を目指しております。

■ ハートビレッジ

住所: 千葉県山武市蓮沼25035-4
電話: 0475-86-3993
開設日: 平成2年5月23日
入所: 90名
通所: 24名



東に鹿野山、晴れた日は西に富士山を望める緑豊かな環境に当施設はあります。『自分らしい豊かな老後を目指す為、家族に相応する介護』を職員一同心掛けております。またロコモ対策の新しい機器も導入し介護予防も含め更にリハビリの充実を図つてまいります。



いつも笑顔をたやさず
一人一人にあった食事を
美味しく召し上がって頂ける様に
日々頑張っていきます。

●メディケア君津
管理栄養士 野村 典子

■ メディケア君津

住所: 千葉県君津市八幡62-1
電話: 0439-50-3111
開設日: 平成14年11月6日
入所: 100名
通所: 50名

老健ちばカレンダー

10月 18日(月) 介護技術研修会(移動、移乗)
『千葉県社会福祉研修センター』
21日(木) リスクマネジメント研修会
『千葉県教育会館』

11月 30日(火) 施設ケアマネジャー研修会
『千葉県教育会館』

12月 1日(水) 栄養管理研修会
『千葉県教育会館』
16日(木) 研究事例発表大会
『千葉市文化センター』

●編集後記

- 我が家が家の長男(2歳)は現在、アンパンマンに夢中です。買い物に行く度に「アンパンチ」と知らない人に襲い掛かり困っています。(笑)(原)
- 今年はとにかく暑かったです。稻刈りも八幡のお祭りも終わり、ようやく秋を感じています。(神作)
- 猛暑、酷暑、炎暑? がようやく終わり、秋たけなわとなりましたが…夏バテなのか、単なる歳なのか、やけに疲れを感じる今日この頃。まずは美味しいものを食べてがんばりま~す。(坂本)
- 気持ちの良い秋晴れのある日、千葉国体の自転車ロードレースで立哨員として活躍しました。貴重な経験でした。(若林)
- 10月から煙草が値上げされました。これを機に思い切って「禁煙を!」とも考えましたが…ふうー、愛煙家にとっては実に肩身の狭い世の中になりました。(斎藤)
- ちょっと遠くまで足を延ばしてみたい季節になりました。今年の秋はベビーカーを押してハイキングにでも行こうかな?(佐々木)